

ブラッシングコーナーについて

目標

- ①保護者の行う仕上げ磨きが 不安なく、より効果的にできるように
アドバイスと実習をする。
- ②自分磨きのできる対象児が上手に磨く事ができるようにチェックをし、
自立への支援をする。また、機能的に有効なうがいができるように指導をする。
- ③フッ素導入のために、歯面をきれいにしておく。

歯磨きを嫌がる主な理由

保護者

- ・子どもの歯を磨くことに慣れていない
→第一子の保護者に多い
- ・歯を磨かなくてはと思い焦ってしまう
→表情も硬く 雰囲気子どもに伝わる



子ども

- ・歯を磨かれることに慣れていない
→触られることに慣れていない
- ・子どもが何をされるか、なぜ磨かれるのか分からないので怖い
→急に倒される、口を開けられる、磨くとき痛い、長い



歯磨きの準備をしましょう

萌出前から有効
歯磨きに慣れる準備として、
こどもの口に、ポンポンと指を当てたり、
口の周りや頬、顎に触って、
遊びながら、口を触ることに慣れさせましょう。

口腔内の顎堤や頬粘膜、口唇裏を触って
あげましょう。



むし歯になりやすいところを伝える



上唇小帯

歯みがき時に、毛先で擦らないように

※転倒時に切れやすいことも説明してください。

(止血すれば慌てなくても大丈夫。

歯を強打して気になれば受診を勧める)



歯間部

歯頸部

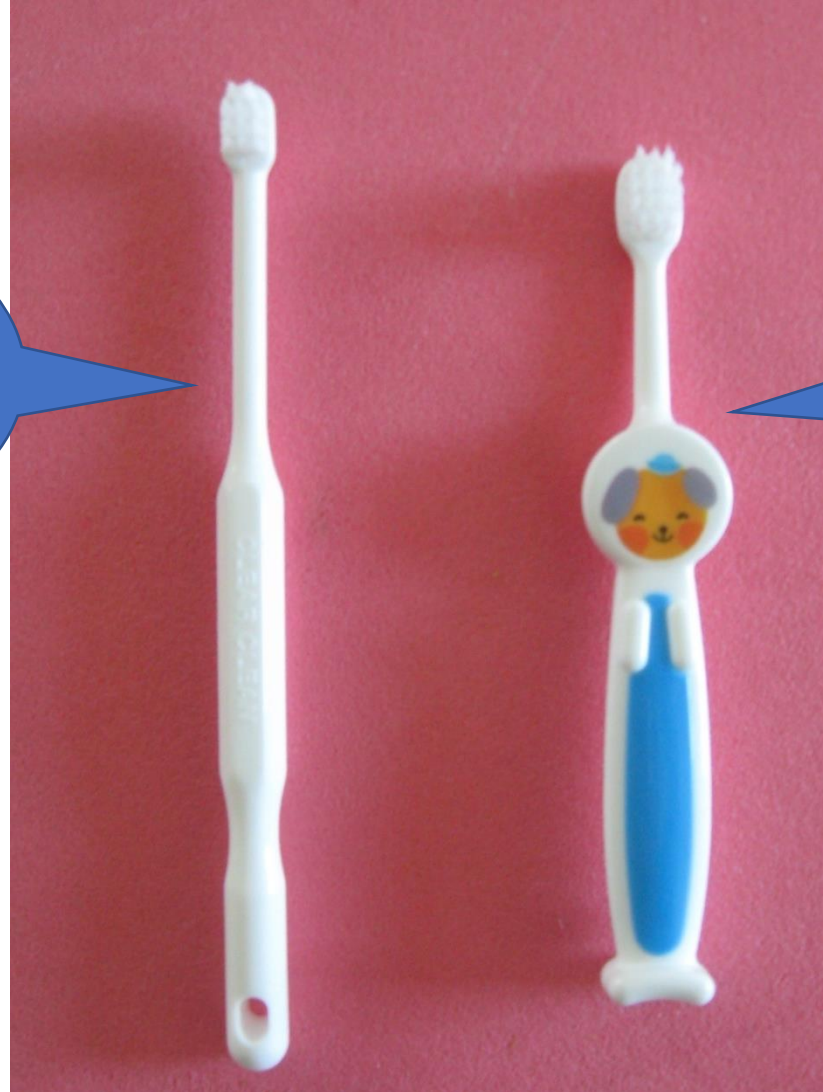


咬合面に注意

4歳からは奥歯の
DEの間

歯ブラシは2本用意しましょう

仕上げ磨き
用



こども用

楽しく歯みがき

この筋を歯ブラシで擦ると
痛いので歯みがきを嫌がります。

上顎前歯部あたりは、口腔内に物が入ると
きのセンサーです。だから敏感な所です。



軽い力で1～2本ずつ小刻みに
ブラシは毛の部分が前歯2本分



唇面は小刻みな横磨きを基本としますが、
上唇小帯が大きい場合やBが舌側にあるのに嫌がるので短時間で
磨きたい時などは、上下に磨くのもOK



糸付きようじ体験



1歳半検診でう蝕が見つかりやすいところ



3才以降の奥歯の歯と歯の間は
「糸付きようじ」が効果的です。

※「糸ようじ」は商標登録名です。
一般での呼称は「糸付きようじ」です



仕上げ磨きの時、
口腔内をよく見る。



保護者と検診結果を確認
しながら口腔内の説明を
する。



口唇・頬の排除し可視可能な状態で
仕上げ磨きを



特別な場合を除き寝かせ磨きを勧めます。
頭部が不意に動くと危険



上顎前歯の唇側



下顎前歯部



奥歯は口を引っ張るのではなく
頬の裏を指で膨らますと
子どもも痛くない

2歳から3歳にかけて磨きにくいEが萌出



Eの半萌出時、Dの咬合面より低位なので、工夫が必要。

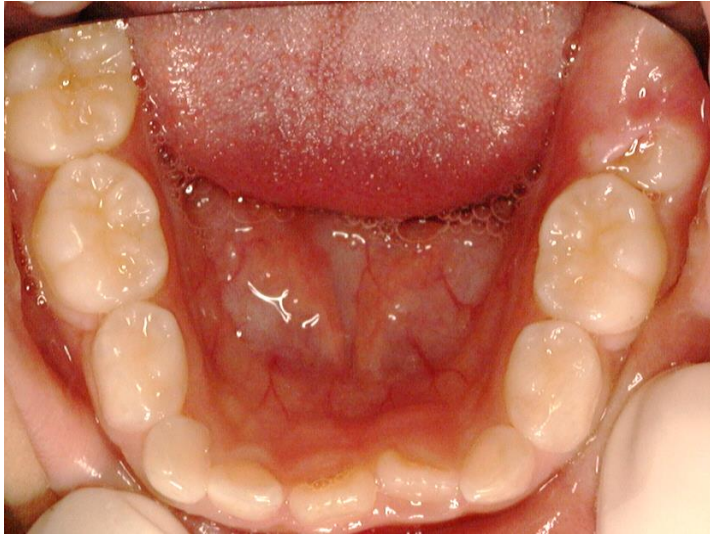


横からの突っ込み磨きが
有効。
※6歳臼歯も同様



自分磨きについて

- 口腔内の状況の説明



自分磨きについて

- ・歯ブラシの選び方
持ち方
動かし方



ペンダグリップ



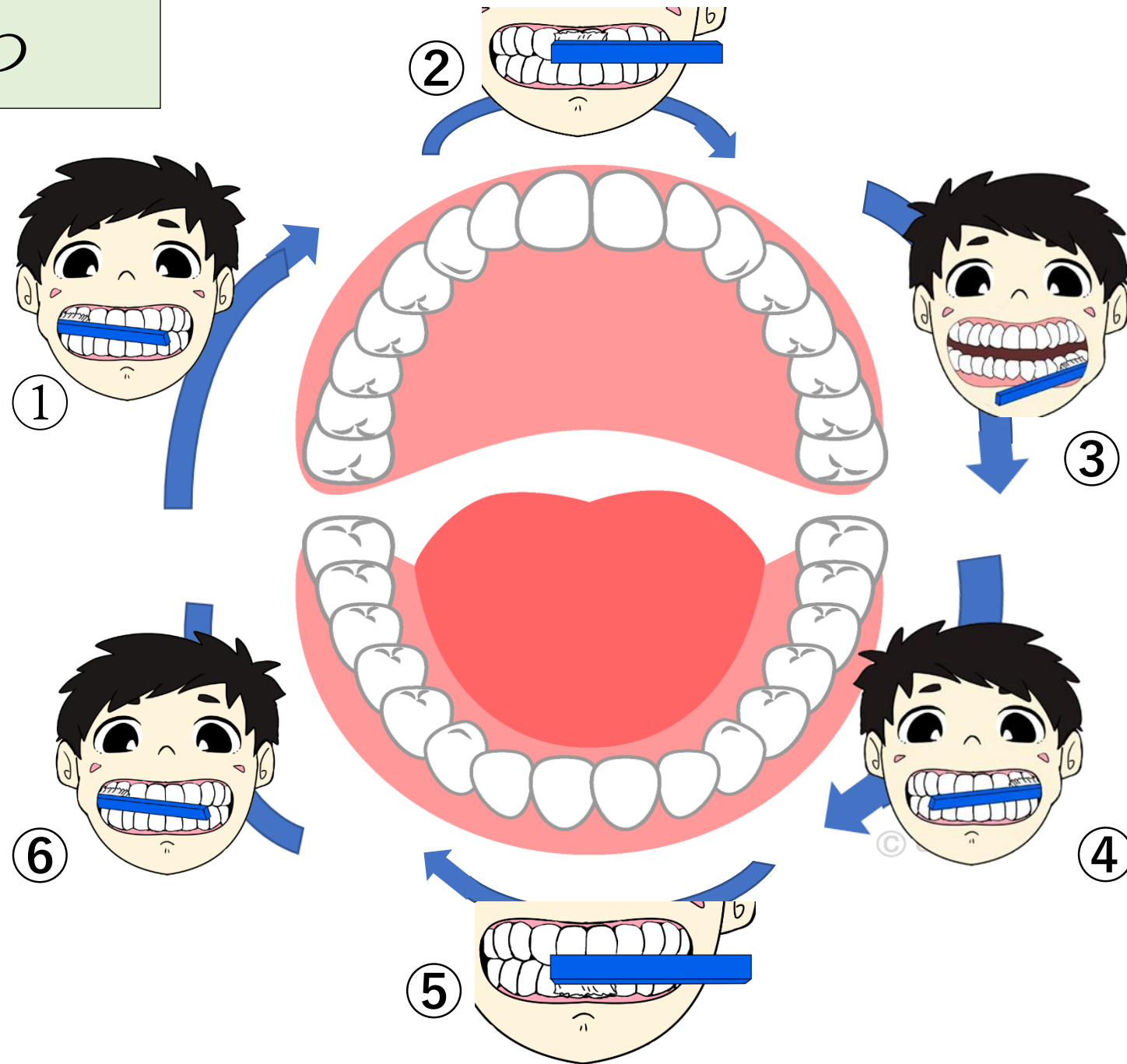
パームグリップ

- ・食べたらみがく。
ねる前の歯みがきはていねいに
- ・こまかく動かす
- ・軽い力でみがく
- ・歯ブラシは毛の部分が前歯2本分の大きさ
- ・歯ブラシは毛先が開いたら、交換
- ・ペンダグリップが望ましいが、
難しい時はパームグリップでもいい。

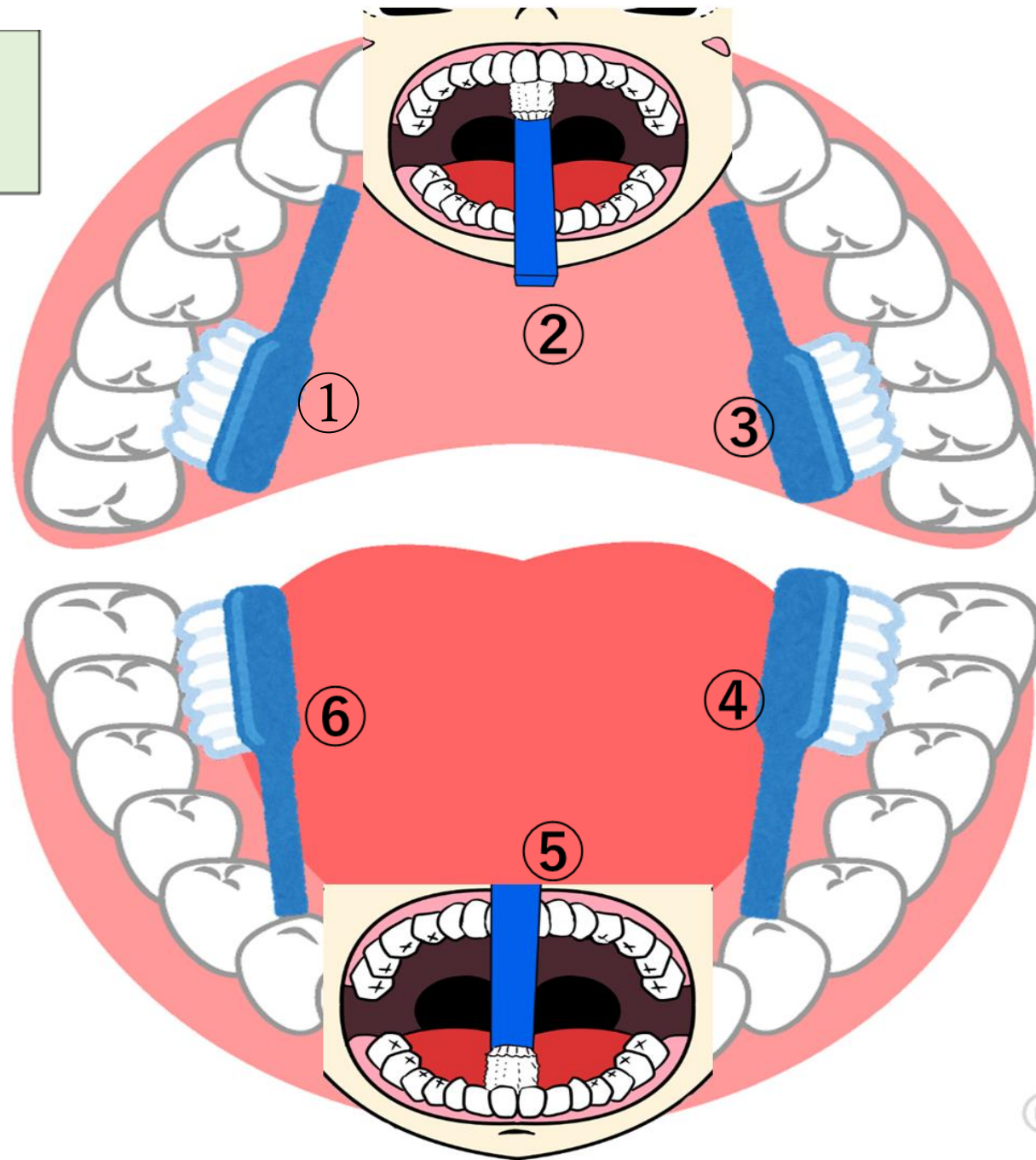
自分磨きについて

磨き忘れのをしない

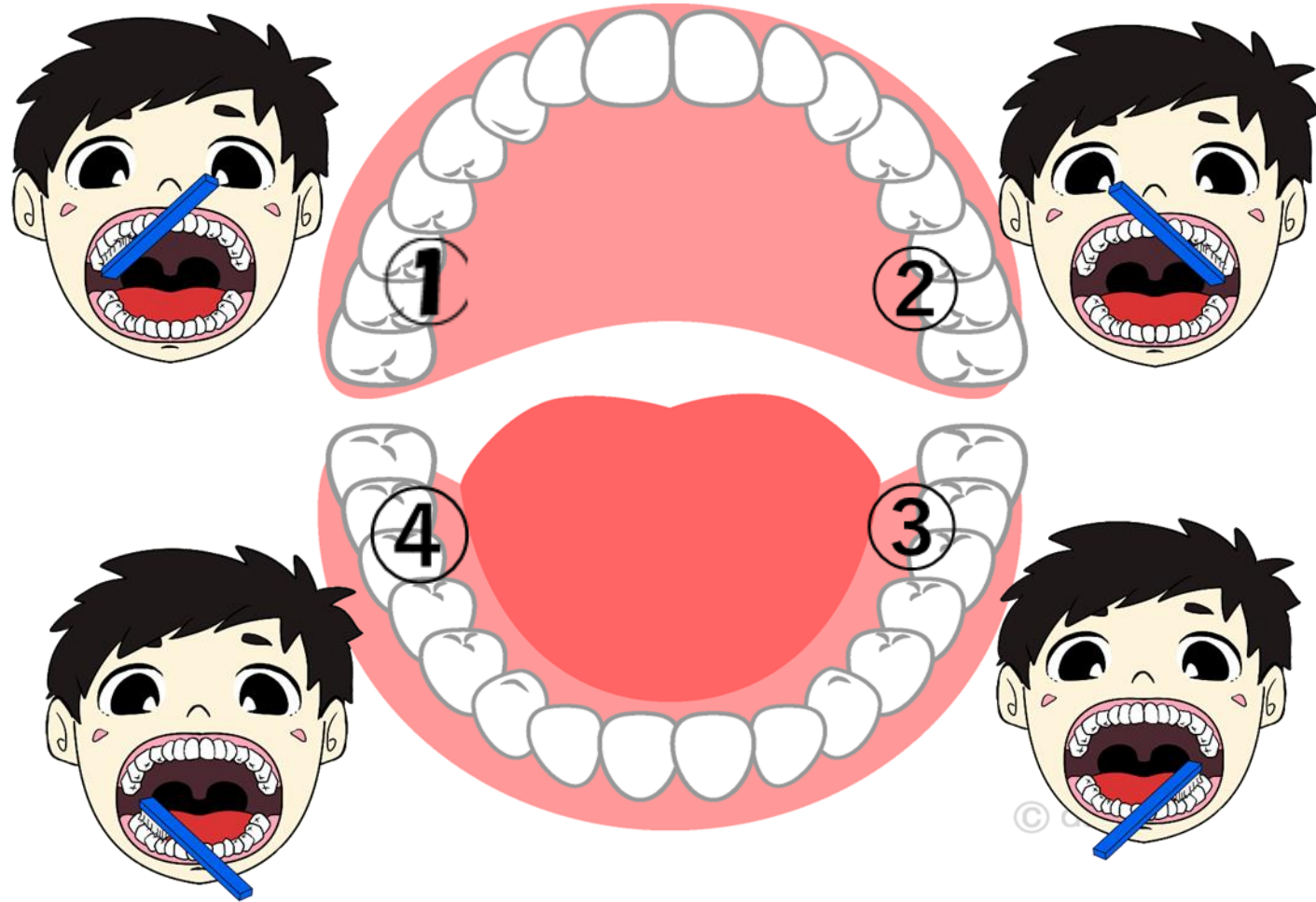
そとがわ



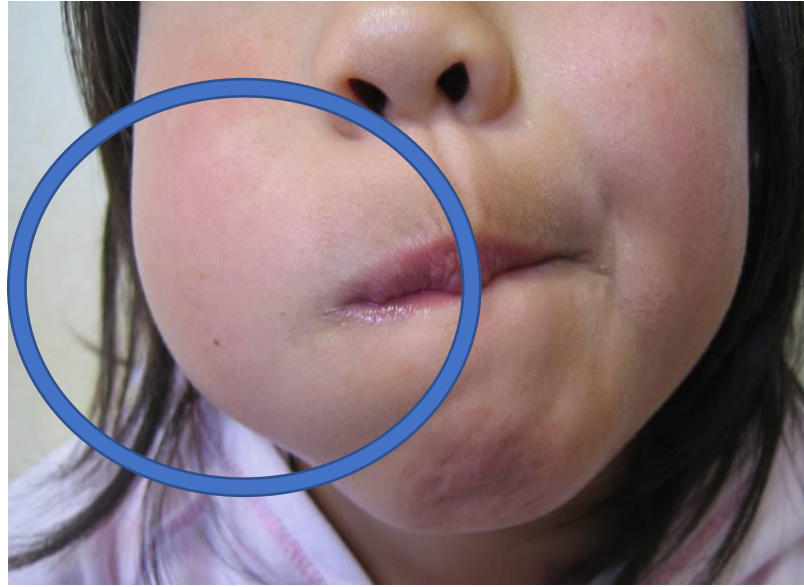
うかがわ



かみあわせ



うがい



きれいにあらう

